

■韓国：輸出用の原子炉の開発完了を 2011 年に計画前倒しへ

韓国政府は 2009 年 3 月 30 日、第 256 回原子力委員会において、輸出用の原子炉であるシステム一体型原子炉 SMART の開発を当初の計画より 1 年前倒しし、2011 年までに開発する方針を固めた。政府はこれを受けて、補正予算を組み、輸出用原子炉の早期開発を支援する。SMART は人口 10 万人の都市に水と電気を同時に供給できる中小型原子炉で、韓国では、途上国への輸出用に 1997 年から研究開発が進められてきた。政府は 2008 年 12 月に、2012 年までに輸出用の SMART の開発を完了し、2020 年までに 10 基輸出するという目標を発表していた。韓国は同国初となる商用原子炉の輸出を推進しており、委員会では、政府はヨルダン、トルコ、アラブ首長国連邦、中国の 4 カ国での受注に力を入れるべきとの意見が出された。